

コード	101010202
記入日	H24.5.31

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	山本 祥了

# 事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	矢野目公園駐車場整備事業
----------	--------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	101	施策名称	魅せる観光のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	10101	基本事業名称	魅力ある観光地の創造と推進体制の確立	目コード	3
事務事業コード	1010102	事務事業名称	観光施設管理事業費	細目コード	890
関連計画	法令・条例規則等				

## 計画 ( PLAN )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 大型バス利用台数	(対象指標1) 200台 (観光統計から推計)					
(対象2)	(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・大型バスが転回できる駐車スペースが確保でき、利用者の利便性と安全性が確保された。 →L=13.3m W=7.0m A=83.48㎡	***** ① 駐車場整備	***** 83.48㎡	***** 100%	実績整備面積÷ 計画整備面積	***** 平成23年度
		(達成率分析)	大型バスの転回スペースとして83.48㎡の駐車場整備を実施した。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)					
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・大型車両 (バス) の転回できる駐車スペースを確保することによって、利用者の利便性の向上と安全性の確保を図る。		***** ① 進捗率	***** 5,946千円	***** 100%	実施事業費÷ 計画事業費	***** 平成23年度
		(達成率分析)	計画どおり実施できた。			
		② 大型バス利用台数	***** 200台	***** -	観光統計による 推計台数	***** 平成24年度以降
		(達成率分析)	事業完了年度のため実績がない。			

## 実施 ( DO )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 23 ~ H 23		22年度以前	23年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① ㎡	83.5	83.5		83.5	83.5
	②					
成果指標	① %	100	100		100	100
	② 台	200	-		200	-
総事業費 C (A+B)	千円	6,646	6,646		6,646	6,646
直接事業費 A	千円	5,946	5,946		5,946	5,946
人件費 B	千円	700	700		700	700
内 従事職員数	人	0.1	0.1		0.1	0.1
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
の 国補助金	千円	3,250	3,250		3,250	3,250
財 県補助金	千円					
源 起 債	千円	2,500	2,500		2,500	2,500
内 その 他	千円					
訳 一般財源	千円	896	896		896	896

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	矢野目公園は、多くの観光客が訪れる場所であり、大型観光バスの乗り入れも多いことから、大型バスの転回場の整備を行なうことで、一般車両の利便性や安全な交通が確保された。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	大型バスの回転場が整備され、利用者の利便性と安全性が確保された。
	効 率 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	町道奈摩冷水線の改良工事と合わせて整備することで、一体的な事業完成が図られた。

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	
	特になし。	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	
	目的は達成された。	
2 次 評 価	町道奈摩冷水線の終点地であり本町観光の要所である。今後も観光客誘客のために利便性・安全性の向上に努めること。	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。